

片桐 直人

高等司法研究科・准教授

【研究】

今年度も引き続き、通貨・財政制度の憲法学的研究、墓地埋葬法制に関する研究、憲法学一般に関わる研究を行った。その成果は、論文6本、共著本1冊、翻訳書1本として公表されている。

【教育】

教育活動としては、オンライン授業の実施に伴い、講義動画の作成にあわせて、レジュメを一新するとともに、同時双方向型の授業を取り入れるなど、より効果的な手法の開発を行った。その結果は、FD活動として研究科内で情報発信するとともに、全学のシンポジウムで公表した。

【管理運営】

FD教育企画委員として、オンライン授業への移行に関する技術的課題のバックアップを行ったほか、3月以後、教務委員として、2021年度の授業実施方針の策定や要配慮学生に対する配慮スキームの構築を行った。

【社会貢献】

宗教学会、日本財政法学会で理事を務め、学会の運営等にあたった。奈良県個人情報保護審査会副会長、高槻市個人情報保護制度審議会会長、大和高田市個人情報保護審議会会長を務めている。経済産業省「第四次産業革命による経済社会構造の変化と税制に関する研究会」の構成員を務めた。